



こうち  
デジタル  
アワード

2025

奨励賞

# 株式会社幸

業務内容 医療・福祉業 創業 2009年 従業員数 67名(パート、アルバイト含む)

所在地 高知市大津乙1212-7(本社)

## 独力で開発した希望休申請ツールで 職員たちが気持ちよく働ける職場を実現

高知県内でも需要が拡大している介護業界。離職率が高い労働環境改善のために、トップが率先して動き、ITベンダーや補助金に頼らず、独自でシステムを構築した「株式会社幸」。その努力が、「高知県ワークバランス推進企業」全6部門認定や有給休暇消化率100%を8年連続達成など、数々の好循環につながっています。



お話を  
聞いたのは



代表取締役社長  
中平 武志氏

### Q 御社のデジタル化の取組内容について教えてください。



データをグラフや表に変換できる無料ツール「Google Looker Studio」を活用し、スタッフがスマホやPCから「Google Forms」を通して希望休、有給休暇の申請をできるようにしました。これによって、いつ・どこからでも休みの申請ができ、また他の職員の希望休を確認できることで、現場で休みの調整がしやすくなり、スタッフ、会社共に予定を立てたり、勤務シフトの作成が楽になりました。

### Q 抱えていた課題と、デジタル化に取り組んだきっかけを教えてください。

介護・福祉業界は全体的に人手不足で、私たちのグループもスタッフ一人ひとりへの負担が大きくなり、平均残業時間が80時間を越えていたときもありました。離職者も多く、人材流出を防ぐためにも私が主導してデジタル化に着手しました。休みたいことを切り出しにくい、他の人と休みが重なって事業所の業務が滞るといったことを防ぐためにも申請の簡略化や情報共有は欠かせないと思い、試行錯誤を繰り返して今のシステムを構築しました。



### Q デジタル化に成功した秘訣を教えてください。

弊社には10代から70代まで幅広い年齢のスタッフが在籍しています。創業から早いタイミングでデジタル技術を導入し、パソコンやスマホでの操作を簡易化したことで、スタッフが苦手意識を抱いたり、戸惑うこともなく、休みの申請や有給日数の確認を行っています。自社内のメンバーが開発しているため、システム面の仕様変更や不具合があった時にも柔軟かつ即時に対応できることもよかったですと思います。



#### デジタル化導入までの期間とプロセス

- 2017年より社内でもデジタル化を開始
- 2021年に今回のツールの前身となるシステムを構築し、2023年12月に今回のシステムを2時間で開発し、実装

#### 導入にあたっての人材確保 (ITベンダー含む)

- 社内の職員が対応

#### 導入したITツール

- Google Looker Studio
- Google Forms
- ChatGPT など

#### 支援機関、補助金等の活用の有無

- なし

#### 受賞にあたって

介護業界でデジタル技術というと、利用者情報の電子化や見守りセンサー、介護ロボットなどが知られていますが、現場で働くスタッフの環境や待遇改善を目的とした弊社のシステムが評価されたのは素直にうれしいです。

#### これからデジタル化に取り組みたい事業者様へ

デジタル技術の導入は投資が高額で、それに見合う成果が得られるか疑問を抱くと思います。弊社はGoogle提供の無料サービスでシステムを開発しました(現在は有料の法人アカウントを使用)。プログラムコードはAIに書いてもらい、システムを運用、微調整しています。まずはこういったシステムを試してみてはと思います。



代表取締役社長  
中平 武志氏